

雪国さっぽろ発 ECO エネルギーで防災教室 第2弾

サバイバル泊まり会

エコスクールを目指す自由が丘を舞台に、自然エネルギーを防災に活かす体験教室を開催。第2弾は子どもたちが主役となって、真冬に電気・ガス・水道が止まったらどうするか、災害シミュレーションにチャレンジしました。



思ったより火力が上がらず、少し野菜が硬かったけれど、寒い中がんばって作ったシチューは格別。あたたかさ

さもうれしく皆でおいしく食べました。

0℃のガレージで炊事体験

通信 NO. 206 でレポートし

た防災教室の第2弾が、2月6日(金)から1泊の日程で行われ、月寒スクール生を中心に9名の子どもが参加しました。放課後の15時20分に地震が



七輪の火起こしならまかせろ!

起こり、電気・ガス・水道のライフラインがストップ、全員スクールに残って一夜を過ごすという設定です。

まず、常温で備蓄可能な米、野菜、缶詰などを使って、クリームシチューを作りました。水はポリタンクに入っている1人3L×人数分しかありません。じゃがいもを雪で洗うなどの工夫で、できるだけ水を節約しました。



キャンドルライト・ディナー!?

火力は第1弾でも活躍した七輪とペレットストーブ「きりんくん」です。気温0℃のガレージで

眠れぬ夜の原因は

いただきますのあたりから、外は真っ暗に。プレ授業で用意しておいた空き缶製ろうそくランタンの登場です。ろうそくを溶かして立てるのが初めての子どももいて、何事も体験が肝心。手回し発電式の懐中電灯がかなり役立つこともわかりました。さて、サバイバルとはいえ楽しみも必要。生徒企画のレクでは、

暗さを活かした肝試し、双六式の「大地震ゲーム」などで盛り上がりました。

寝るときは、スクールにある布団、毛布等、各自で自由に使いましたが、子どもたちは寝袋1枚で就寝。結局室温は15℃までしか下がらず、用意していた寒さ対策は必要ありませんでした。それでも寒かったという声が多く、さらに低温になった場合の備えが必要だと感じました。

また、大人含め、寒さより大勢で寝ることに抵抗感のある参加者もいて、彼らにとってはそこが最大のチャレンジだったようです。

また、大人含め、寒さより大勢で寝ることに抵抗感のある参加者もいて、彼らにとってはそこが最大のチャレンジだったようです。



ストーブで雪とかし

これはすごい! 防災ワザを体験

翌朝は朝食の後、3つの体験プログラムをしました。電気を使わないペレットストーブの点火体験、雪を溶かして濾過し飲めるようにする浄水体験、水を使わない簡易トイレの設置体験です。その後、公園で雪のブロックを切り出してイグルーを作り、雪中でのサバイバル技術にもチャレンジ



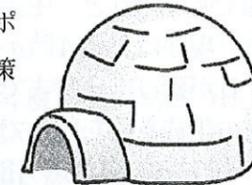
のこぎりで雪ブロック切り出し

しました。修了式ではライフライン復旧という設定で、照明を点灯。ポリタンクの水も残っていることを確認し、一人ずつ修了証をもらって解散しました。夜を無事乗り切るという目標に対し、チームワークで挑んだ泊まり会でした。

この2回の企画は、社会的な課題解決型のNPOを全国規模で支援する「YS市庭コミュニティ財団」の助成を受けて実現しました。今回は近隣からの参加者が少なかったことが課題ですが、都会の中のエコキャンプとして、地域の子ども、大人とともに学び合える機会をこれからも作っていき

たいと考えています。このレポートが皆さんにとって災害対策について具体的に考えるヒントになればと思います。

(鈴木かおり 記)



私たちが自由が丘を応援しています!



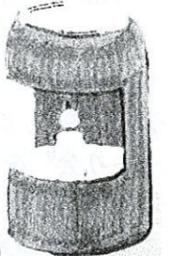
北海道の山の家 秀岳荘

本店 札幌市北区北12条西3丁目 ☎(011)726-1235
白石店 札幌市白石区本通1丁目南 ☎(011)860-1111
旭川店 旭川市忠和5条4丁目 ☎(0166)61-1930
(駐車場有ります。)

電気・ガス・水道が使えない! そんなとき役に立つワザを学びました

- 水節約** ★まな板代わりに牛乳パック
- ★自分専用食器セット(ラップをかけて汚れ防止)
- ★雪を溶かしてアウトドア用浄水器にかける

- 炊飯** ★七輪と鍋でご飯を炊く
- ★炊けたら鍋ごと新聞紙でくるんで保温



- 明かり** ★空き缶で手作りろうそくランタン
- ★手回し発電の懐中電灯が役に立つ
- ★キャンプ用LEDランタンは電池必要だが明るい

- 防寒** ★寒さを防ぐのは重ね着
- ★新聞紙・段ボールで防寒(次回の課題)

- トイレ** ★様式便器に厚手ビニール袋を二重にかぶせて、便座を下げれば簡易トイレに。排泄物は吸水ポリマーの粉末で固めてゴミに出す。

子どもたちへのQ&A

Q. 不便だったことは

A. 電気がつかなかったこと(暗い)、水道が使えなかったこと、寒さ、不便でない(水・電気の大切さに気づいた、水の備蓄が必要という声も)

Q. これはすごいと思った防災ワザは?

A. 水の浄化、トイレ、空き缶のろうそくランタン、七輪での湯沸かし、服の重ね着など